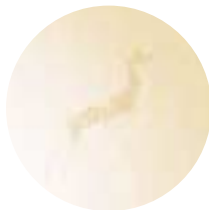


## 第11回春日井シンポジウム

# 春日井に集う「地域学」

関東学・東海学・飛鳥学・京都学・日本海学

平成15年11月8日・9日



### ■第一部 / “東海地域”の研究成果(美濃編)

#### 〈東山道と美濃 問題提起〉

近江から美濃へ～古代の東山道と遺跡～	……	滋賀民俗学会理事	兼 康 保 明
東山道ルートに沿う遺跡の特質	……	池田町教育委員会	横 幕 大 祐
～弥生から古墳時代を中心として～		岐阜県教育委員会	成 瀬 正 勝
文献資料から見た東山道～美濃を中心として～	……	岐阜大学助教授	早 川 万 年
信濃の古道と古墳	……	飯田市教育委員会	小 林 正 春

### ■第二部 / 地域学～いくつかの視点～

#### 〈地域学からの発言〉

京都学からの発言			
「山城学」との相違点を踏まえて	……	花園大学教授	山 田 邦 和
日本海学からの発言			
地域学の先駆的实践としての			
「日本海文化シンポジウム」	……	富山市教育委員会	藤 田 富 士 夫
東海学からの発言			
「沙石集」の世界～東海学の立場から～	……	東京女子大学名誉教授	大 隅 和 雄
飛鳥学からの発言			
飛鳥学と東海	……	京都教育大学教授	和 田 萃
関東学からの発言			
もう一つの古典文学史	……	成蹊大学教授	浅 見 和 彦
まとめとしての発言			
地域学と司馬遼太郎の「街道をゆく」	……	同志社大学名誉教授	森 浩 一

#### 〈まとめの討論〉

司会 / 八賀 晋 助言者 / 伊藤 秋男・福岡 猛志  
パネラー / 兼康 保明・横幕 大祐・成瀬 正勝・早川 万年・小林 正春

### □誌上参加

「家形石棺のひろがり	……	名古屋市教育委員会	服 部 哲 也
～美濃・尾張地方の場合～		名古屋市見晴台考古資料館	
「大型の方墳が造られた頃～美濃の事例～」	……	可見市教育委員会	長 瀬 治 義
「村・町・都市の考古学	……	同志社大学歴史資料館	鋤 柄 俊 夫
～沙石集からみた中世東海の風景～			
「伊吹山南麓の遺跡と古道」	……	春日井市教育委員会	大 下 武

\*ここまでの風景カットは、平成5年刊「庄内川」(春日井市発行/春田光一・画)より

第1部の「東海地域の研究成果(美濃編)」では、東山道交通で従来注視されていなかった「天野川の水運」が取り上げられたのをはじめ、製塩土器の出土分布から河川交通を重視すべきとの見解が述べられた。このほか、東山道以前に存した各地を結ぶ「塩の道」の実態と、次第に神坂峠越えに集約されていく経緯が述べられた。また文献史学の立場からも、官道とは別に「地域社会によって支えられた交通・交流が各時代を通じて伏在していた」ことが指摘された。

第2部の「地域学からの発言」では、長く「都」として存在し続けた「京都」もまた地域学の対象になり得るとして、地域性の違いから「山城学」「京都学」に分け、この二つの地域に立脚して各時代の特徴を分析した。「日本海学」では、土台となった「日本海シンポジウム」の経過が細かく解説され、地域学の先駆的役割について述べられた。「東海学」では尾張の長母寺に住した「無住」の『沙石集』を取り上げ、その多様・多面的内容は「東海」の地でこそ可能だったことを説いた。「飛鳥学」では対象とする地域と時代、提唱にいたった経緯が述べられ、とくに東海地域と深い関係にある事柄(榎田川河口の津・宮川河口の津・多度町の戸津・小墾田と尾張・美濃出身の舎人)について、考察が加えられた。「関東学」では文学に現れた女性像を、京都・関東・東海と比較しながら論じられた。まとめの講演として、森氏は『街道をゆく』の著者司馬遼太郎氏との交遊を語りながら、地域を重視したその先見性を高く評価された。